

大会で出された要求事項に基づき「経営協議会」を開催！

2011年11月18日、JR東海労新幹線地本は新幹線鉄道事業本部と「経営協議会」を開催し、「大会に基づく諸要求」に関する議論を行いました。申し入れから二ヶ月経っての、しかも1時間という制約の中での開催ですが、「安全に関する事柄」「防災対策」「熱中症対策」などについて、現場で汗する組合員の意見に基づいて会社に強く申し入れました。(議論の詳細については後日報告します)

「安全・防災対策・熱中症対策」について議論！

1. 安全について

- ・ 事故防止は現場と一体となって進めていくというが、現場では管理者と社員と一体となっていない。
- ・ 東一運の掲示で「虚偽の報告をしない事」というものが出たが、虚偽の報告をしなければならないような職場風土が存在するという事。現に20日も「日勤」にされている社員がいる。組合として看過できない、改善するべきだ。
- ・ 東二運では小川営業科長が自から添乗しているが、科長が添乗するのはかつて無い異常な事だ。また、業務中の乗務員に試問や指摘をして、その報告を強要している。指摘が目的化されている。安全上問題であるため直ちにやめること。

2. 防災対策について

- ・ 新幹線の津波対策マニュアルをつくるべきである。
- ・ 自治体によるハザードマップの作成に会社も参画を。

3. 熱中症対策について

- ・ 乗務員や駅員夏制服はネクタイ不要の快適なものにするべきだ。
- ・ 車両所検修庫の老朽化対策でリニューアルを検討するべきだ。

JR東海労新幹線地本は安全で明るく働きたすい職場環境を求め今後も声を出し闘いを進めていきます。